

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026 年3月4日

「免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた非小細胞肺癌患者における長期生存例の特徴を明らかにする多施設共同後ろ向き観察研究」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	202536
課題名	免疫チェックポイント阻害薬治療を受けた非小細胞肺癌患者における長期生存例の特徴を明らかにする多施設共同後ろ向き観察研究
所属（診療科等）	呼吸器内科
研究責任者	坂上拓郎(熊本大学大学院生命科学研究部(臨床系)呼吸器内科学 教授) 当院研究責任者：呼吸器内科 津守 香里
研究実施期間	倫理審査承認日～2027年3月31日
研究の意義・目的	免疫チェックポイント阻害薬(ICI)は、進行した非小細胞肺癌の治療として広く用いられており、一部の患者さんでは5年以上の長期生存が得られることが分かってきました。しかし、どのような患者さんが長期生存に至るのかについては、実際の診療現場のデータを用いた十分な検討がなされていません。本研究では、複数の医療機関でICI治療を受けた非小細胞肺癌患者さんの診療情報を用いて、長期生存された患者さんの特徴を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、今後の治療選択や予後予測の参考となり、より良い医療の提供につながることを期待されます。
対象となる方	2015年1月から2020年12月までの期間に、熊本大学病院及び各共同研究機関において、免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けた非小細胞肺癌患者さんを対象としています。
利用する診療記録・検体	本研究は後ろ向き観察研究で、診療の課程で作成された診療録(カルテ)等に記載されている既存の情報のみを用いて解析します。研究に用いる情報には、年齢、性別、ECOG Performance Status(PS)、喫煙歴、身長、体重、Body Mass Index(BMI)、職業、感染症の有無、併存症、常用薬、家族歴に加え、血液検査項目(白血球数、好中球数、リンパ球数、乳酸脱水素酵素(LDH)、C反応性蛋白(CRP)、アルブミン(Alb))、原疾患の治療に関する情報、生存に関する情報、および有害事象に関する情報が含まれています。
研究方法	上記の診療記録から得られた臨床情報を用いて、統計学的な解析を行います。
問合せ先	くまもと県北病院 呼吸器内科 津守 香里

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。
研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。
ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあります、引き続き使用させていただくことがあります。